

家庭数配布

平成30年（2018年）10月30日

保護者の皆様

札幌市立 西園小学校
校長 山吹 明範

「平成30年度 全国学力・学習状況調査」の結果概要のお知らせ

秋冷の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、4月17日全国一斉に、小学校第6学年と中学校第3学年の児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その目的は、「全国的な義務教育の機会均等と水準向上のために、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、改善を図る」また、「各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育の結果を把握し、改善を図る」ことです。その調査結果が、過日、文部科学省より公表されたことは、ご存知のことと思います。

つきましては、9月に、学力調査を受けた6年生に個人の設問ごとの正答や誤答の状況などがわかる個票をお渡ししています。今回は、本調査で得られた本校の結果概要を別紙のとおりお知らせいたします。学習指導要領解説に準拠して説明しております。

なお、調査結果の分析をもとに、調査対象の学年だけでなく、全学年を通して、取り組むべき課題や改善を検討し、子ども一人一人に確かな学力が身に付く指導の向上に努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

本日お渡した文書

- 全国学力・学習状況調査の調査結果 西園小結果概要【国語・算数・理科】（1部）
- 児童質問紙調査 西園小結果概要（1部） ※両面印刷

※本校のホームページにも、カラー版で載せています。ぜひご覧ください。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

話すこと・聞くこと

□全国平均に比べ上回っている。

書くこと

□全国平均に比べ上回っている。

読むこと

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

言語についての知識・理解・技能

□全国平均に比べ上回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

話すこと・聞くこと

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

書くこと

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

読むこと

□全国平均に比べ上回っている。

※平成24年度調査から「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に変更。

■目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと。

■文章を読み、登場人物の心情について情景描写を基に捉えること。

■文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。

■習った漢字を積極的に文の中で使う。

■目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考える。

■目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

話すこと・聞くこと

○対話的な活動等を継続することにより、一人一人が自信をもって自分の考えを説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることができるように指導していく。

書くこと

○作文や感想文などの活動を通して、目的や意図に応じて伝えたい内容を明確に書けるよう指導していく。

読むこと

○物語を読んだ感想や取り上げた叙述について必然性をもって交流し、互いの考えの共通点や相違点を明らかにすることが、自分の考えを広めたり深めたりすることにつながることを実感できるように指導していく。

言語についての知識・理解・技能

○漢字は、繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使うことができるように指導していく。

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

数と計算

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

量と測定

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

図形

□全国平均に比べ上回っている。

数量関係

□全国平均に比べ上回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

数と計算

□全国平均に比べ上回っている。

量と測定

□全国平均に比べ上回っている。

図形

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

数量関係

□全国平均に比べ上回っている。

今回の調査における課題

■ 1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解する。

「小数のわり算」

■ 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解する。

「単位量あたりの大きさ」

■ 分度器で 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。

「角の大きさ」

■ 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる。

〈 図形の観察と論理的な考察・表現 〉

改善の方向

数と計算

□数量の関係を的確に捉え、立式することができるようになる。

量と測定

□およそどれくらいになるか見積もったり、数値を変えたらどうなるかを試してみたり、工夫して求めるよさを実感できるよう指導していく。

図形

□作図する活動を通して図形を構成・分解したり、性質を見出したりする指導を充実させる。

□図形の構成要素や性質を基に、筋道を立てて考え、事柄が成り立つことを説明することができるよう指導していく。

数量関係

□目的に応じてグラフを作り、複数のグラフを関連づけて考察することができるように指導していく。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

物質とエネルギーに関する問題

物 質

□全国平均に比べ上回っている。

エネルギー

□全国平均に比べ上回っている。

生命と地球に関する問題

生 命

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

地 球

▼全国平均に比べ下回っている。

物 質

■物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適応できるかを考える。

5年「もののとけ方」

エネルギー

■太陽の一日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合った物作りに適応できるかを考える。

3年「かげと太陽」

4年「電気のはたらき」

生 命

■骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。

■人の腕が曲がる仕組みを模型に適用して考える。

4年「体のつくりと動き」

地 球

■堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

■土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

5年「流れる水のはたらき」

□既習の内容や生活経験と関係付けて話し合う場を設定し、提示された自然の事物・現象を捉えることができるよう指導する。実験の様子を絵や図等を用いて表現することで、質的・実体的な視点で捉えられるように指導していく。

□問題を明確にし、その視点に沿って結果から必要な情報を適切に選択できるよう指導していく。また、獲得した知識を日常生活と関連付けて図や模型を用いて考えたり、説明したりする活動を取り入れていく。

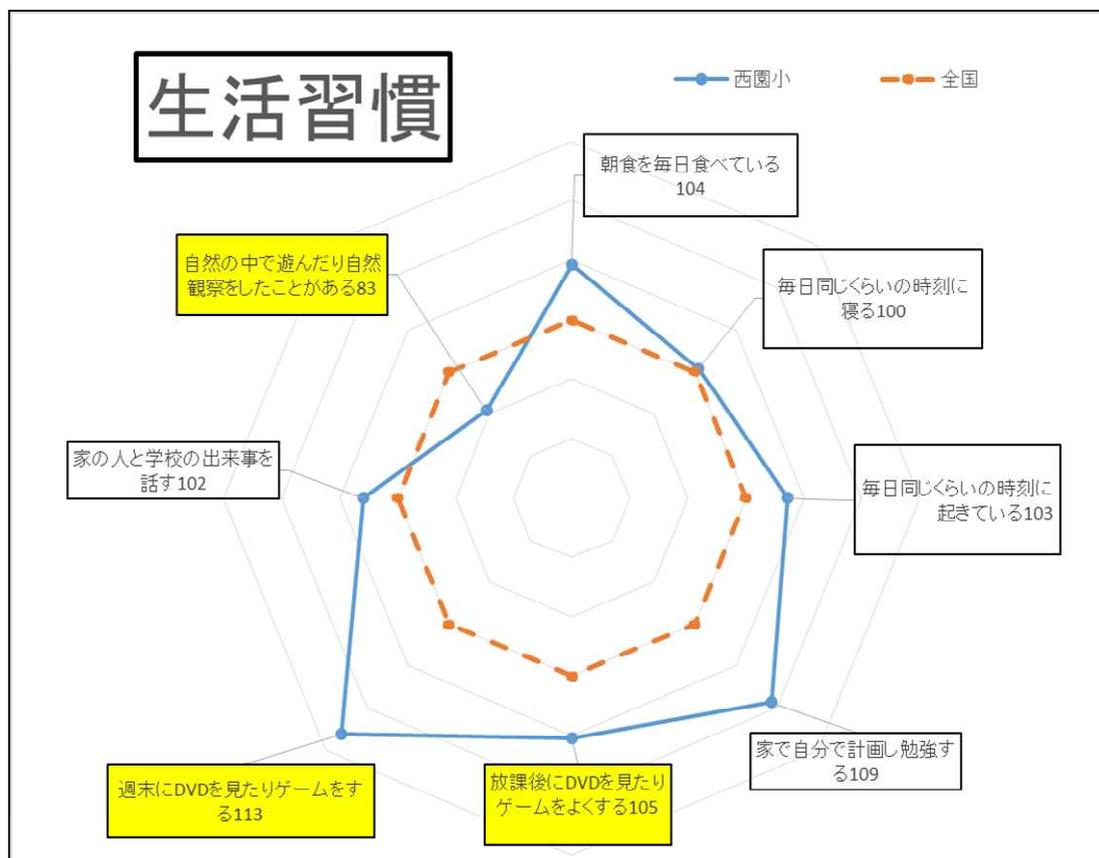
□観察や実験の結果を基に「事実」と「解釈」(結果から考えられること)の両方を示しながらも説明できるように指導していく。

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果概要 西園小学校【児童質問紙】

全国学力・学習状況調査では、「国語」「算数」「理科」の学習問題の他に、学習意欲や学習環境、生活に関する全62問の質問を児童に実施しています。全国平均の値を100として、本校の結果をレーダーチャートで表してみました。(62問の質問の全てについて公表することはありません。)

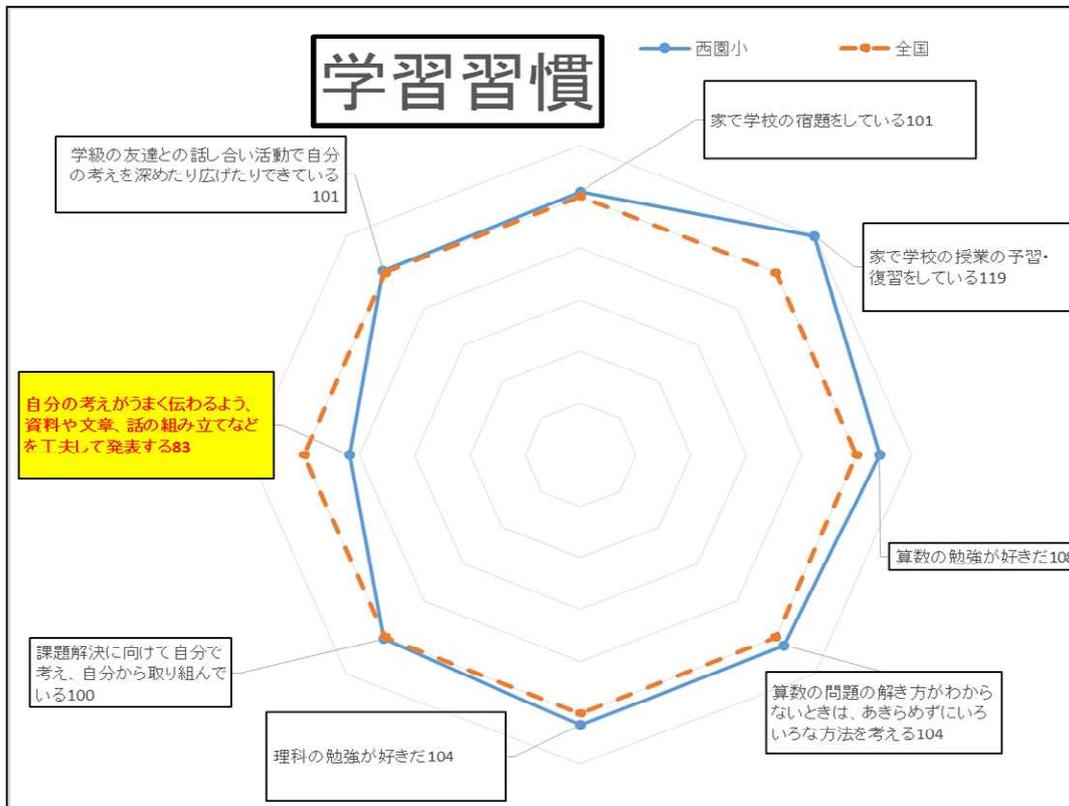
この結果から、ご家庭でも子どもたちの学習や生活状況を把握していただき、改善に努めていただければと思います。授業内容や教科については学校の方でも結果を分析し、今後の指導改善に生かしていきます。

本校の概要

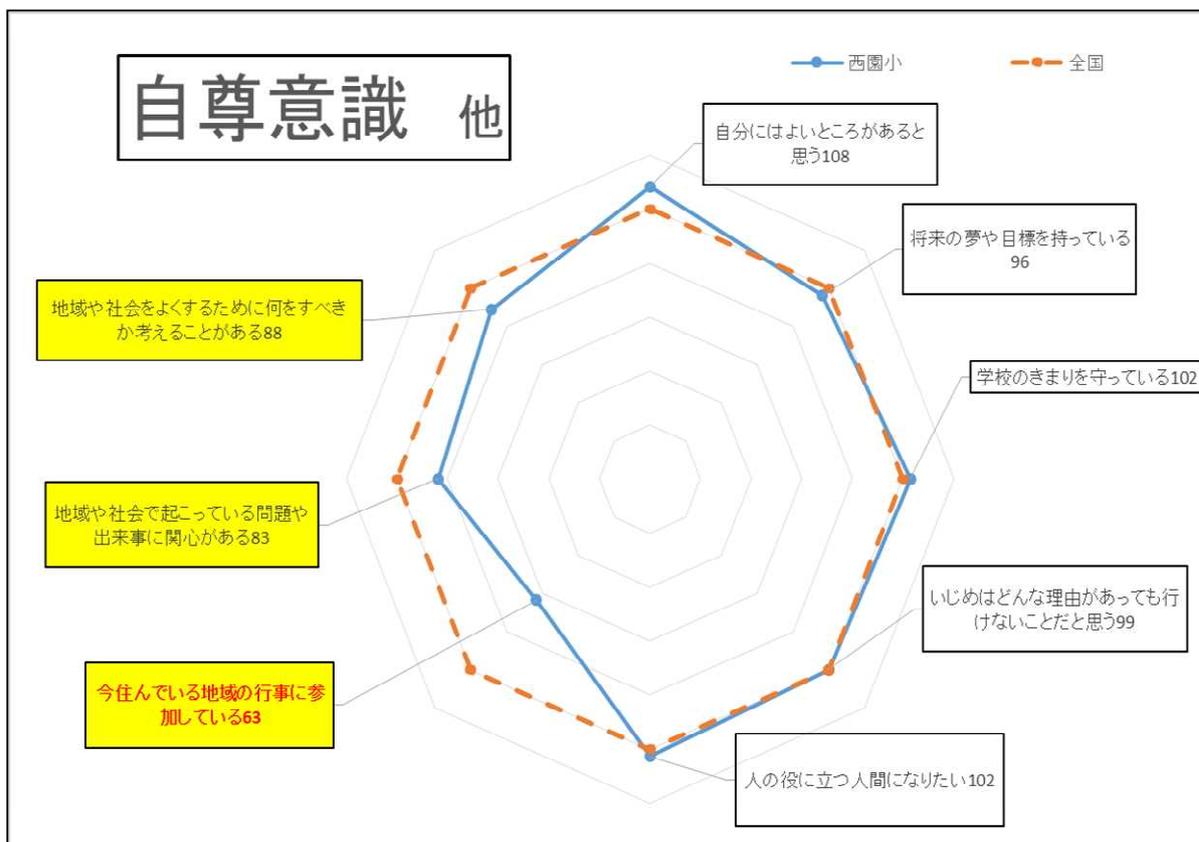


今回の調査における課題及び改善の方向性

「朝食を毎日食べる」「家の人とがっこうの出来事を話す」などの項目は、よい面で全国を上回っています。放課後や週末の時間に「DVDを見たりゲームをする」時間が全国比よりかなり高くなってきているのは、よいとはいえません。自然の中で遊ぶ機会も少ないようです。体を動かして遊んだり、ゲームなどの使用時間はルールをしっかりと決めていけるとよいです。



どの項目も全国平均と同じくらいになっています。「自分の考えを発表する」項目に関しては、授業の中でも児童が力をつけていけるように、学校としても継続して改善に取り組んでいきます。



自尊意識、規範意識に関しては、全国平均と同じくらいです。「地域や社会に対して関心がある」項目については、全国平均より低くなっています。周りと関わっていくことによってさらに自分を見つめることにつながると考えます。ご家庭でも意識していただければと思います。